



第22号

開 鐘

K E - J O U

沖縄県立芸術大学広報誌



学	長				
		メ	ッ	セ	ー
		ジ			

学生目線の評価に向けて

学長 波多野 泉

大学は言うまでもなく学生が中心でなければなりません。小規模な本学でも、学士・修士・博士課程学生、研究生、科目等履修生、留学生、聴講生など様々な形態の学生が学んでいます。これら全ての学生が尊重され、主体性をもって学べる環境を整備し、また時代に合わせて改善していくのが大学の責務です。学問と教育の自由をもっとも体現すべき機関としての大学、中でも個性の伸長を根本とすべき芸術大学においては、より多様性を認める学風が大切です。

そして、地域社会に密着した教育研究活動を通じて有為な人材を輩出するとともに、地域と連携して社会に貢献することも公立大学としての大きな使命です。一方、社会の大学に対する要請は多様化していますが、大学が生み出す知見や人材は必ずしも地域内に留まるものではなく、単純な地域利益優先の発想のみでは学生が主人公になり得ません。そこには、専門と教養の学びの中で学生が自らの意思で社会や文化、自然を考え、関わる姿勢の涵養が不可欠です。

知の伝承と人材育成を第一義とし、専門分野の研究の中核を担い、地域・社会に貢献すべき公共財としての大学は、不断の自己点検と改善に基づく自律的な運営と同時に、制度としての他律的な評価はもとより社会への説明責任や競争原理の導入が求められます。そして、近くは首里城復興に象徴されるように、今後ますます地域社会からの本学への期待は増してくるでしょうが、そのような中でもまずは人材育成の観点において教育の側面から論じ、本学に籍を置く学生の教育と乖離しないことが肝要です。それには、学生目線による評価、学生への説明責任を今まで以上に重視することだと思います。本学に関わる様々なステークホルダーの視点を取り入れることは当然のこととして、常に本学の学生による評価が尊重されなければならないことを念頭に置き、令和3年度からの公立大学法人化を見据え、教職協働による大学改革に取り組んでまいります。

プロフィール

波多野 泉（はたの いずみ 1957年2月22日 - ）滋賀県出身。
沖縄県立芸術大学第8代学長。

彫刻家。東京藝術大学大学院修了。沖縄県立博物館・美術館、あさご芸術の森美術館（兵庫）、丸沼芸術の森（埼玉）、國立臺灣藝術大学、宜野座村漢那区、北中城村大城、松阪市等に作品が収蔵、設置されている。



工芸講座:織分野では、染場においての実技指導として、採取した月桃の染材の煮出し、繊維と染料の相性などの実習を行いました。

芸術系教科等担当教員等研修会の 地区ブロック研修会

令和元年度、文化庁主催による芸術系教科等担当教員等研修会の地区ブロック研修会（九州・沖縄地区）を本学で開催しました。この研修会は、芸術系教科等担当教員等を対象に、学習指導要領の趣旨を踏まえた理論研修、実践研修を実施し、指導方法や評価方法の工夫改善につなげ、指導の充実に資することを目的としています。

本学では3つの講座を開き、9名の中学校、高等学校の先生方が受講されました。



彫刻講座は、友人をモデルにした塑造制作を行いました。



デザイン講座は粘土アニメの基本的な仕組みの紹介をした後、タブレット端末（iPad）を使用してコマ撮りを行いました。

彫刻の五・七・五

HAIKU-Sculpture 2019 in Okinawa International Exhibition for Art Universities



「彫刻の五・七・五 (HAIKU-Sculpture)」は、世界で最小の定型詩俳句に倣い、四季を主題として五音七音五音を五寸(15cm)×七寸(21cm)×五寸(15cm)のサイズに変換し、制約された空間の中で彫刻表現の新たな可能性をさぐることを目的としている。日本、台湾、タイ、中国、韓国、ベトナムの美術系大学21校から大学院生と教員の作品を集め、国境を越えた展覧会を浦添市美術館(11/12～11/19)と沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館(11/12～11/24)にて同時期開催した。

また、展覧会の関連事業として、《アジア芸術系大学間 学術・国際交流シンポジウム》および《大学院生による意見交換会》を11/12に本学一般教育棟にて開催した。



音楽学部創設30周年

地域と共に、新時代を切り拓く

組踊上演300周年記念 沖縄県立芸術大学 組踊・琉球舞踊公演

ー地域とともに組踊新世紀を歩みだすー

教員、学生、卒業生による県内5か所を巡る組踊公演は各地で好評を博しました。また、各会場において本学工芸専攻の教員によって制作された紅型の展示もあり、学部を越えた取り組みとなりました。



令和元年	11月16日	うるま市民芸術劇場 響ホール
	12月8日	沖縄市民会館
	12月14日	大宜味村立大宜味小中学校体育館
	12月27日	南風原町立中央公民館 黄金ホール
令和2年	1月5日	沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール



第30回洋楽定期公演

西洋音楽の軌跡 ー地域の美から普遍の美へー



今回の洋楽定期公演は、全て教員による演奏で構成し、2日目には音楽学部創設30周年を記念し委嘱した土井智恵子准教授作曲「unica-17人の奏者と琉舞のための-」を初演いたしました。

令和元年10月25日、26日(沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール)

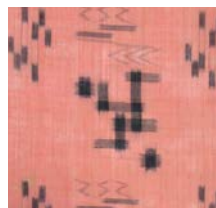


附属図書・芸術資料館 新資料紹介

八重山上布 新垣幸子 裂帖

新垣幸子（1945-）は、八重山上布の第一人者である染織作家です。1970年代に大城志津子（1931-1989）や志村ふくみ（1924-）の指導を受け、1991年には沖縄県指定無形文化財技能保持者として認定されました。1989年から2015年まで26年間、本学の非常勤講師を務め、指導を行ってきました。

「八重山上布 新垣幸子裂帖」には、苧麻を素材に平織、紹織、縮、花織を用いた1974（昭和49）年～2018（平成30）年までの170点の作品が収められています。古布の復元や技術の保存にも尽力した作家の貴重な作品で、今後の活用が期待されます。



古典柄「紅花地・総緋」



紹織「曙光の音」



花紹織「田園・朝」



古典柄「黄地・総緋」



移動大学 in 伊江島

附属研究所では移動大学 in 伊江島を、令和元年10月25日（金）、26日（土）、27日（日）の三日間の日程で開催しました。

25日は伊江中学校で全生徒を対象とした絵画教室と、吹奏楽部および合唱コンクールのピアノ伴奏指導を行いました。26日、27日の両日は、伊江中学校において島内小中学生を対象に絵画教室、彫刻教室、写真教室、粘土アニメ教室、紅型教室、楽カマ陶芸教室、織遊び教室、歴史文化教室、三線教室、沖縄の笛教室、琉球舞踊教室、空手教室の12教室を開催しました。26日夕方には、伊江村農村環境改善センターにおいて芸能公演（洋楽、空手、琉球芸能）を実施しました。今回、本学からの参加者は専任教員12名、非常勤講師他10名、院生17名、学部生13名、外部講師2名、事務員2名の合計56名でした。各教室への参加者数は延べ149名、26日夕方の芸能公演参加者は約300名でした。



【絵画】

仁添まりな(博士課程2年)	第11回なは市民芸術展 那覇市長賞 第72回沖縄展 絵画部門 浦添市長賞
小林実沙紀(大学院2年)	第72回沖縄展 絵画部門 e-no株式会社賞
坂元蘭(大学院2年)	第18回奄美を描く美術展 大賞

【彫刻】

福田直樹(大学院2年)	第48回沖縄県芸術文化祭 沖縄県文化振興会賞 第31回沖縄県立芸術大学卒業・修了作品展 北中城村長賞 第4回CYCLE展～創造するエネルギー～2020 OIST学長賞・最優秀賞 とよはらアートロード彫刻展 2020 とよはら賞 リサイクルアート展 2019 一般の部 優秀賞 第2回ジョン万賞 とよはらアートロード彫刻展 2020 とよはら賞 とよはらアートロード彫刻展 2020 とよはら賞 第72回沖縄展 e-no株式会社賞
堀口葵(大学院2年)	
戴素貞(研究生)	
伊藤銀(学部3年)	
前原優香(学部3年)	
小林真理子(学部1年)	

【芸術学】

長嶺勝磨(大学院2年)	第13回ぶりお文学賞 小説部門 佳作
工藤源也(学部4年)	第31回沖縄県立芸術大学卒業・修了作品展 沖縄県立博物館・美術館長賞

【デザイン専攻】

李ジャスミン(学部4年)	第16回千修イラストレーションコンテスト 最優秀賞
島崎夏花(学部4年)	2019年沖縄デジタル映像祭 特別賞
藤紗弥(学部3年)	「ミニソフィ」壁面デザインコンペ 最優秀賞

【工芸】

＜染＞	
浦川愛菜(大学院1年)	第4回CYCLE展～創造するエネルギー～2020 優秀賞
喜屋武澁子(大学院1年)	第28回りゅうぎん紅型コンテスト 技術賞
＜織＞	
福本理沙(大学院2年)	第72回沖縄展 うるま市長賞
杉本智奈(学部4年)	第31回沖縄県立芸術大学卒業・修了作品展 北中城村文化協会賞
＜陶＞	
鈴木まこと(大学院2年)	第53回女流陶芸展 朝日新聞社賞 第31回沖縄県立芸術大学卒業・修了作品展 デパートリウボウ賞
＜漆＞	
島袋香子(大学院2年)	第31回沖縄県立芸術大学卒業・修了作品展 美ら島財団理事長賞 日本漆工協会 漆工奨学賞
上江洲安龍(大学院1年)	第4回CYCLE展～創造するエネルギー～2020 優秀賞
寺島志乃(学部4年)	第42回沖縄県工芸公募展 育成部門 新人賞

【山本正男賞】

鈴木まこと(生活造形専攻)	石橋有実(生活造形専攻)	小林実沙紀(環境造形専攻)
浦上桜(環境造形専攻)	長嶺勝磨(比較芸術専攻)	

【西銘順治賞】

平良春佳(絵画専攻)	小泉ゆりか(彫刻専攻)	工藤源也(芸術学専攻)
李ジャスミン(デザイン専攻)	新井田桜子(工芸専攻)	

【音楽表現専攻・器楽専攻】

＜ピアノコース＞	
川口夏海(学部4年)	公益財団法人日本ピアノ教育連盟 第36回JTPAピアノ・オーディション 沖縄地区予選E部門 奨励賞 第2回六本木国際ピアノコンクール 優秀賞 九州・山口ジュニアピアノコンクール 沖縄大会 最優秀賞 第41回沖縄ピアノコンクール 銀賞 第22回長江杯国際音楽コンクール 優秀賞 第4回ベートーヴェン国際コンクール in ASIA 沖縄予選 優秀賞 第41回沖縄ピアノコンクール 金賞 日本ショパン協会九州支部 推薦演奏会オーディション 合格 第21回ショパン国際コンクール in ASIA 全国大会 奨励賞 公益財団法人日本ピアノ教育連盟 第36回JTPAピアノ・オーディション 沖縄地区予選 奨励賞 第21回ショパン国際コンクール in ASIA 沖縄地区大会 銀賞
本和田秋穂(学部4年)	
瀧沢夏希(学部3年)	
吉田七星(学部3年)	
小島夕和(学部2年)	
吉本美優(学部2年)	
坂田歩(学部1年)	
＜管打楽コース＞	
宇根ひかり(学部3年)	アジアユースオーケストラ 2019 オーディション合格、コンサートツアー出演 台湾のオーケストラ「桃園市國樂團 Taoyuan Chinese Orchestra」にフルート奏者として入団
Chen-YiHsuan(留学生)	

【琉球芸能専攻】

＜琉球古典音楽コース＞	
新垣勝裕(学部4年)	沖縄タイムス伝統芸能選考会(三線) グランプリ
兼箇段翔(学部3年)	琉球新報社主催 第54回琉球古典芸能コンクール(三線) 優秀賞
安富祖 末吉 アレハンドロ(留学生)	琉球新報社主催 第54回琉球古典芸能コンクール(三線・笛) 新人賞
＜琉球舞踊組踊コース＞	
石嶺李杏(学部3年)	琉球新報社主催 第54回琉球古典芸能コンクール(舞踊) 優秀賞
松田桃佳(学部1年)	沖縄タイムス伝統芸能選考会(舞踊) 新人賞

【大学院 演奏芸術専攻】

＜ピアノ専修＞	
砂辺絢斗(大学院2年)	第41回沖縄ピアノコンクール 大学・一般の部 金賞並びに市長賞 公益財団法人日本ピアノ教育連盟 第36回JTPAピアノ・オーディション 沖縄地区予選E部門 優秀賞受賞 並びに全国大会へ派遣 九州・山口ジュニアピアノコンクール 審査員特別賞
宮原百合恵(大学院2年)	
＜管弦打楽専修＞	
川田桜子(大学院1年)	第25回宮日音楽コンクール 管楽器部門 最優秀賞、グランプリ(宮崎日日新聞社賞) 及びANAヨーロッパ賞 第52回琉球新報音楽コンクール 一般の部 第3位 第4回 チェンマイヒナステラ国際コンクール オープンカテゴリー セミファイナリスト チェンマイヒナステラ国際音楽オーケストラ参加
眞境名該(大学院1年)	

【大学院 音楽学専攻】

＜音楽学専修＞	
石橋佐紀子(大学院1年)	「二童敵討」における琉球的要素―曾我物語との比較から― 『ムーサ 沖縄県立 芸術大学音楽学研究誌』第21号掲載

【大学院 舞台芸術専攻】

＜琉球舞踊組踊専修＞	
仲嶺夕理彩(大学院1年)	琉球新報社主催第54回琉球古典芸能コンクール(舞踊) 最高賞

【山本正男賞】

佐久本純(舞台芸術専攻)	砂辺絢斗(演奏芸術専攻)	大城聖美(演奏芸術専攻)
--------------	--------------	--------------

【西銘順治賞】

川口夏海(音楽表現専攻)	大庭瑠奈(音楽表現専攻)	天野響(音楽文化専攻)
--------------	--------------	-------------

「弥 榮」 坂本 希和子

蓮をモチーフに、筒描、型染の技法を併用し制作された紅型衣装。焼失した首里城の炭を染料として使用している。

開鐘 (KE-JOU)

開鐘とは、明け六つの開静鐘の優雅な音にたとえられた三線の尊称です。沖縄県立芸術大学も開鐘のように遥か彼方まで鳴り響き、世界に向かって飛躍する拠点となる事を願い、広報誌を「開鐘」と名付けました。

沖縄県立芸術大学 広報委員会
2020 年 5 月 15 日発行



沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

